

就 職

◎企業数

東京都	鹿児島県
417,988 社	49,970 社

※中小企業庁ホームページ 2016年時点

◎初任給（千円）

東京都	鹿児島県
高卒 178.1 千円	高卒 156.7 千円
大卒 220.5 千円	大卒 191.8 千円

※令和元年度賃金構造基本統計調査

◎通勤時間

東京都	鹿児島県
約 94 分	約 58 分

※平成28年社会生活基本調査

◎平日における平均帰宅時間

東京都	鹿児島県
19時13 分	18時23 分

※平成28年社会生活基本調査

MEMO :

東京の企業数は鹿児島の約8.4倍！東京では自分の興味のある企業を見つけやすく、鹿児島では企業数が少ないため、業種によっては就職活動は苦労するかもしれません。初任給は東京が高卒で約2万円、大卒で約3万円高いようです。通勤時間は鹿児島が約36分短く、また、移動手段は鹿児島は多くが自家用車、東京は電車（しかも満員）であると考え、時間以上に大変でしょう。平均帰宅時間は鹿児島の方が50分早く、プライベートの時間を多く持てそうです。

家 計

◎家賃

東京都	鹿児島県
81,001 円	37,863 円

※平成30年住宅・土地統計調査

◎1か月の実収入（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）	鹿児島市
694,159 円	562,022 円

※総務省統計局家計調査年報2019年

◎1か月の実支出（2人以上の勤労世帯）

東京都（区部）	鹿児島市
514,523 円	410,293 円

※総務省統計局家計調査年報2019年

MEMO :

家賃は東京の方が約2.1倍高いようです。家賃のような固定費が高いほど生活が苦しくなるため、部屋選びは慎重にする必要があるようです。2人以上の勤労世帯の1か月の実収入と実支出の差額を比べてみると、

- 東 京：収入 694,159円－支出 514,523円＝ 179,636円
 - 鹿児島：収入 562,022円－支出 410,293円＝ 151,729円
- わずか27,907円の差しかなく、東京は収入も多いですが、支出も多いようです。

東京と鹿児島の生活を「見える化」

結婚・出産・子育て

◎未婚率



※国立社会保障・人口問題研究所／人口統計資料集 2020

◎合計特殊出生率



※令和元年人口動態調査

◎出産費用（正常分娩の場合の平均）



※平成 28 年度国民健康保険中央会調べ

◎1か月間の教育費（2人以上の勤労世帯）



※総務省統計局家計調査年報 2019 年

MEMO：

未婚率は男女とも東京の方が高く、合計特殊出生率は東京が 1.15 人、鹿児島が 1.63 人となっています。

出産費用を見てみると、東京は鹿児島に比べ、約 1.4 倍高く、2人以上の勤労世帯の1か月間の教育費にいたっては約 2.4 倍となっています。

また、子育てや教育にかかる費用の負担や親族によるサポート等を考えると、鹿児島は東京と比べて、結婚・出産・子育てがしやすい環境と言えます。

生活

◎病院数（人口 10 万人あたり）



※平成 30 年医療施設調査

◎治安（人口千人あたり）



※令和元年犯罪統計

◎自家用乗用車の保有台数（1世帯当たり）



※一般財団法人自動車検査登録情報協会調べ 令和 2 年 3 月時点

MEMO：

病院数は人口 10 万人あたり、東京の 4.7 施設に対し、鹿児島は 14.9 施設と全国でも多い病院数です。また、治安は人口千人当たりの刑法犯認知件数、窃盗犯認知件数ともに東京が全国の上位である一方、鹿児島は全国でも下位であり、安心して暮らせる環境であることがわかります。

自家用乗用車の保有台数を 1 世帯当たりで比べると、東京が 0.424 台、鹿児島は 1.178 台となっており、鹿児島で暮らすには各家庭に 1 台は車が必要となるようです。